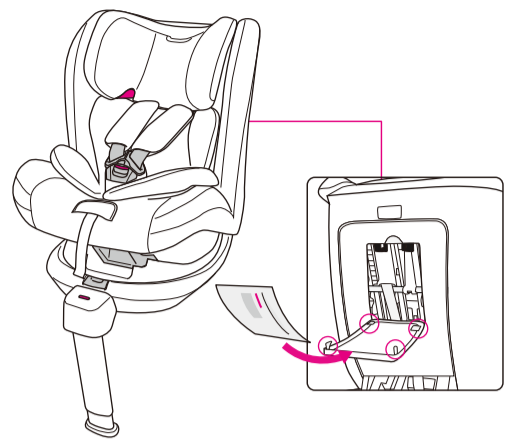


はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。



ISOFIX固定式チャイルドシート
型式/TYPE : S65
ECE R44/04 Group 0, I, II, III
SEMI-UNIVERSAL
リーマン株式会社 www.leaman.co.jp
〒496-0911 愛知県豊田市西保町南川原68-1
お客様相談室 TEL. (0567) 27-0173
受付時間 月曜日～金曜日 (祝日・弊社指定休日は除きます)
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

表示マーク この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 注意** 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
- 禁止** 図示されている内容の禁止を示しています。
- 確認** 安全のため、必ず確認していただきたいこと。
- アドバイス** より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。
- うまくいかない時は**、うまく作動しない時などに役立つ補足説明がまとめてあります。ご参照ください。

*製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら当社お客様相談室へご連絡ください。 *製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。

クイックガイド/目次

事前準備

- 1 適合の確認
- 2 取付けできないシート
- 3 作業スペースの確保
- 4 使用条件の確認
- 5 各部名称
- 6 角度調節の仕方
- 7 取付け向き変更の仕方
- 8 ご使用上の警告/注意

お車に取付ける

- ベビーモード | チャイルドモード | ハイバックモード
- 1 サポートレッグを起す
 - 2 ISOFIXコネクタを差し込む
 - 3 サポートレッグを調節する
 - 4 取付けを確認する
 - 5 お車から取りはずす
- ハイバックモードではサポートレッグを使用しません。

お子さまの乗せ降ろし

- ベビーモード | チャイルドモード | ハイバックモード
- 1 乗せる準備をする
 - 2 お子さまを座らせる
 - 3 幼児ベルトの高さ調整
 - 4 お子さまを拘束する
 - 5 拘束ポイントを確認する
 - 6 お子さまを降ろす
 - 7 お子さまを座らせる
 - 8 拘束ポイントを確認する

チャイルドモードからハイバックモードへの変更

- 1 幼児ベルトをはずす
- 2 肩ベルトカバーをはずす
- 3 パックル、幼児ベルトを格納する

メンテナンス

- 1 カバーを取りはずす
- 2 洗濯と日常のお手入れ
- 3 保管/廃棄の仕方/製品仕様

事前準備

1 適合の確認

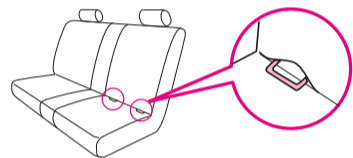
ISOFIX 使用時の注意点

本品は「ISOFIX」(UN No.44/04規則)に適合した製品ですが、ISOFIX取付け金具を装備したすべての車に取付けられるものではありません。
本品は、各質量グループに対し、右の表のいずれかのサイズ等級、固定具が記されている車両に取付けることができます。
取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。

質量グループ	サイズ等級	固定具
0	E	ISO/R1
I	D	ISO/R2
I	B1	ISO/F2X

ISOFIX 取付け金具について

ISOFIX取付け金具とはチャイルドシートを取付けるために、車両両側もたれと車両座席の間に装備された金具(バー)です。



本装置は、認可された車両がUN/ECE 規則No. 16または同等の基準で認可された3点式トラクター付き安全ベルトとISOFIX取付け金具を装備している場合のみに適しています。

2 取付けできないシート

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

取付けできないシート

- ISOFIX取付け金具が装備されていないシート。
- 座面の奥行きが43cm以下の座席。
- エアバッグが装備されている座席。(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- 本製品を取付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。(万一のとき乗員の安全が確保できません。)
- 助手席には取付けないでください。
- 極端なバケットタイプなどの座席。(取付けた本製品が安定しません。)
- 座席の凹凸が極端で、取付けたときに不安定になる座席。
- その他、本製品を固定できない座席。

3 作業スペースの確保

安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

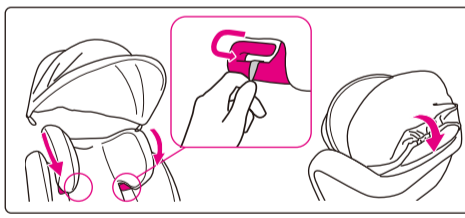
- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。
- 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
- 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

キャンピイの使用法

- 体重13kg以下のお子さま(1才半頃まで)は[22:キャンピイ]をご使用いただけます。

取付け方

[2:ヘッドレスト]下部にある[20:ベルトガイド]2カ所に[22:キャンピイ]両側のゴム紐をかけ、[22:キャンピイ]後側を[2:ヘッドレスト]に被せて取り付けます。
取り外す際は強く引っ張らず丁寧にゆっくりにはずしてください。



●キャンピイは、後向き専用のパーツです。前向きで使用すると衝突時などに本来の性能を発揮できず、重大な害を負う可能性があります。

●キャンピイは、お子さまの体重13kg(1才半頃まで)を超えた場合や、お子さまの手が届いたり身体に触れる場合は、使用しないでください。

- 本製品を持ち運ぶ際は、キャンピイ部分を持たないでください。
- キャンピイの上部に、ものを載せないでください。
- キャンピイに、おもちゃなどを取付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。
- キャンピイを洗濯する際、洗濯機は使用しないでください。
- キャンピイを取りはずす際は、お子さまの手が届かない場所で保管してください。
- 芯材が曲がるなどにより変形した場合は、使用しないでください。
- 破損や破れが生じた場合は、使用しないでください。芯材が露出する危険です。
- 本製品以外での使用や、本来の目的以外での使用はしないでください。

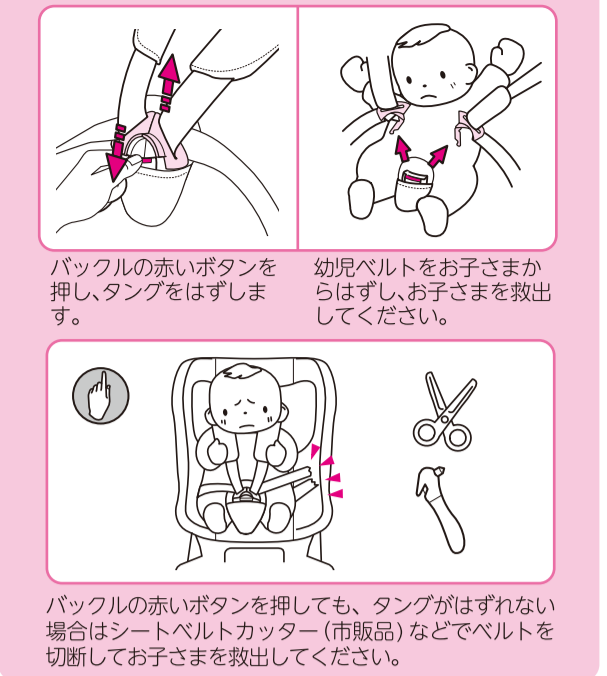
8 ご使用上の警告/注意

記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げて着用してください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- 本製品のバックルをはずしたままの使用は危険ですので絶対にしないでください。(ハイバックモードを除く)
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
- お子さまが、バックルの赤いボタンを押さず勝手に注意してください。ときどきタンクがバックルからはずれていないことを確認してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。
- 本製品を改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとりで放置することは絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作(回転・ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。
- 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をなさないでください。
- お子さまの負担を考慮1時間以上連続して使用しないでください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受けたり、危険です。
- 肩ベルトが首にかかっていると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にからないように調整してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してからご使用ください。

- 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態でお願いします)
- 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけると、転倒してケガなどをさせるおそれがあります。
- お子さまが本製品の上で立ち上ったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますので注意してください。本製品と車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、使用してください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないよう本製品を取付けてください。
- ベルトを鋭利なもので傷つけないよう注意してください。
- 本製品を車両以外では使用しないでください。
- 本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。
- 本製品を持ち運ぶときは、ベース部以外をもちたないでください。故障の原因となります。
- 爪をのばしていたり、付爪爪を付けていると拘束や調節操作をする際、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。

緊急時には... 衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。



バックルの赤いボタンを押しても、タンクがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

4 使用条件の確認

お子さまの体重が9kgを超えるまでは前向きで使用しないこと。

幼児ベルトの高さ調整の仕方

[2:ヘッドレスト]の高さを変更すると、連動して[4:幼児ベルト]の高さが変わります。
[4:幼児ベルト]の長さ(2:ヘッドレスト)に余裕を持たせて、次に[1:ヘッドアジャスタ]を引いた状態を保つまま[2:ヘッドレスト]を上または下へ動かす。
上または下へ動かす。(裏面)
●乗せる準備をする ●参照

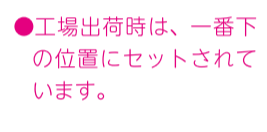
[1:ヘッドアジャスタ]は[2:ヘッドレスト]カバーの下にあり見えません。



ベビーモード

お子さまの体重 ~13kg未満
年齢のめやす 15ヶ月以下
使用リクライニングポジション 1 2 3 4 5

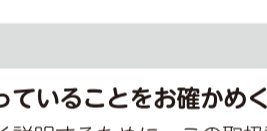
後向き
幼児ベルトの高さ調整
お子さまの肩と同じ高さか、やや低めから [4:幼児ベルト] が出る位置になるように [2:ヘッドレスト] 高さを調節します。
●工場出荷時は、一番下の位置にセットされています。



チャイルドモード

お子さまの体重 9~18kg以下
年齢のめやす 約9ヶ月~4歳頃
使用リクライニングポジション 1 2 3 4 5

前向き
幼児ベルトの高さ調整
幼児ベルトの長さ(2:ヘッドレスト)に余裕をもたせてから [1:ヘッドアジャスタ] を上向きに引き、[2:ヘッドレスト] 及び [4:幼児ベルト] の高さを調整する。[4:幼児ベルト] が出る位置が、肩より少し高くなるように、[2:ヘッドレスト] の位置を調整してください。
[4:幼児ベルト]



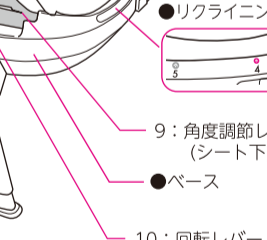
ハイバックモード

お子さまの体重 15~36kg以下
年齢のめやす 約3歳~11歳頃
使用リクライニングポジション 1 2 3 4 5

前向き
ベルトガイドの正しい位置
ベルトガイドを肩と同じ高さか、やや高め(位置)になるように調整する。(目安:ヘッドレスト高さが7段目以上)
●低すぎる ●肩と同じか、やや高め ●高すぎる



お子さまの乗せ降ろし時の回転操作はできません

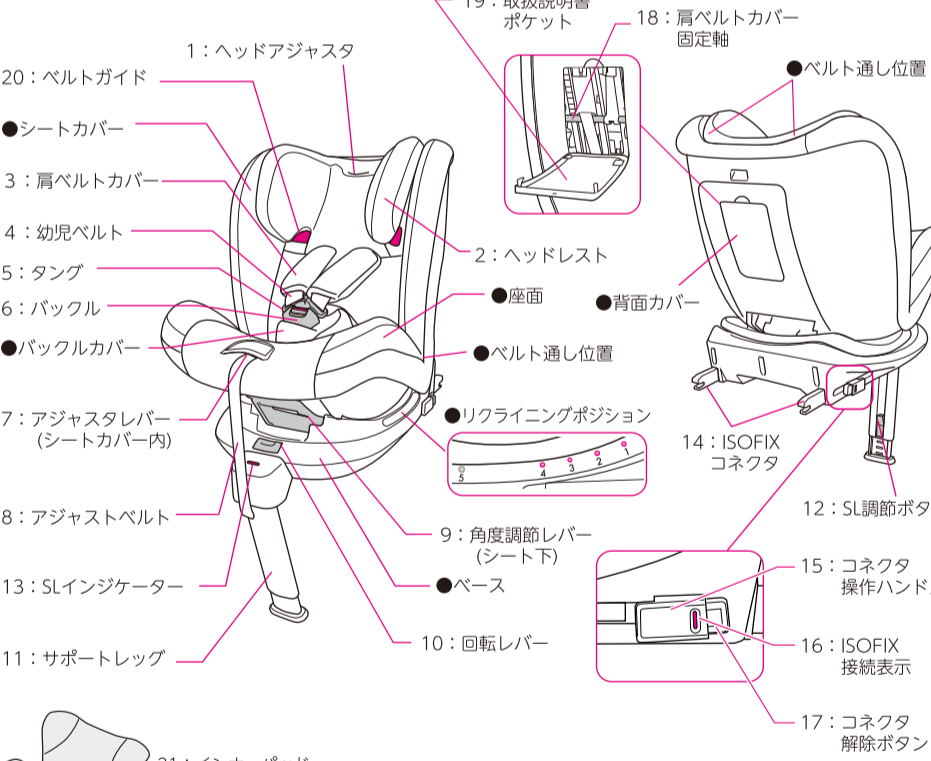


5 各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることを確かめください。

*使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。また、製品性能向上のため予告なく仕様変更することがあります。

- 本体正面
- 本体背面



6 角度調節の仕方

A「チャイルドモード」 シートの下にある[9:角度調節レバー]を押し上げながら、シートの角度(リクライニングポジション)を調節する。(前向き使用時4段階「1」~「4」に角度変更ができます。)

「ベビーモード」「ハイバックモード」シートの下にある[9:角度調節レバー]を押し上げながら、シートの角度(リクライニングポジション)を「ベビーモード」は「5」「ハイバックモード」は「1」に合わせる。

●各モード、指定の角度以外に変更しないでください。

Bレバーから指を離してシートをリクライニング方向にゆすり、ロックされていることを確認する。

- 本製品のシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。
- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作できない場合、その座席では使用しないでください。
- ※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。

- ベース背面やシートの背面、リクライニングレバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、リクライニング操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりとリクライニングさせてください。お子さまの手などが本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。

7 取付け向き変更の仕方

シート部の回転操作で取付け向きを変更します。

●回転操作はISOFIX金具を解除してからおこなってください。(ISOFIX固定時)無理に回転をさせると車両シート表面を傷める場合があります。

Aベースにある[10:回転レバー]を引きながら、シートをまわす。「カック」と音がしてロックするまでまわす。

「後向き」と「前向き」の中間の位置(90度の位置)でロックする箇所がありますがこのポジションでは使用しないでください。

Bシートを回転方向にゆすり、ロックされているか確認する。

- 走行時はシートの回転操作はしないでください。
- 回転レバーの下のすき間に指や手などをいれたまま、回転操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態で取付け向きの変更はしないでください。

